

vol.

2

Photo & Story/Joe Honda
Script/Sin Yasui

ジョー・ホンダが語る モーター スポーツ ウラ話



シューマッハの能力はしばしばマシンの限界をも超えてしまう。それだけ、彼には余力が残されているのだが.....。

8

月の末、久々にF1グランプリへ足を運んできた。私が行ったベルギーのスパ・フランコルシャンは、長いストレートがあり、低速から高速までさまざまなタイプのコーナーがほどよくミックスされた。我がニッポンの鈴鹿に、比較的似た性格を持つコースだとされる。すなわち、このスパで好成績を残したマシンは、鈴鹿でも相当な活躍が期待できる。

久しぶりのF1の現場は、何も変わってはいなかった。ピットやパドックでは相変わらず、トップチームたちがレースに勝つための準備を粛々と進めている。ひとつ目新しい点と言えば、セツ

ションの開始前日にトヨタが大規模な記者発表を行ったことだった。会見の場にはトヨタの本社取締役であり、同社のモータースポーツ部門を統轄する富田務氏がいた。ちなみに富田取締役は、ドイツ・ケルンに工場を置き、トヨタF1計画のすべての拠点となるTMG（トヨタ・モータースポーツ GmbH）の会長職にも、このほど就任している。そしてTMG社長のオベ・アンダーソン、同テクニカルディレクターのアンドレ・ド・コルタンツといった、トヨタF1プロジェクトの主だったメンバーはすべて会見場に勢ぞろいした。

トヨタはその場で、2002年F1参戦までのすべてのスケジュールを明らかにした。会見の場にはマックス・モズレーFIA（国際自動車連盟）会長も姿を見せた。いよいよトヨタがF1にやってくるのだと改めて実感する。モズレー会長とトヨタの富田取締役、アンダーソンTMG社長が握手をかわし合う姿に、F1新時代の到来が頭をよぎった。21世紀、F1グランプリの中枢を支える有力自動車メーカーの一社としてトヨタは確実に指名を受けた。さて、話を今に戻そう。今年のチャンピオンシップは、という、ま

たしてもマクラーレン・メルセデスとフェラーリの一騎討ちだ。フェラーリとミハエル・シューマッハにとっては、これが3度目の正直ということになる。

それを受けて立つマクラーレンは、とはいえ、相変わらず組織が徹底的に管理され、まるでついているスキがない。テクニカルディレクターのエイドリアン・ニューウェイが事実上、レース現場の活動実権を握り、ドライバークラウド、エンジニア、マシンの設計者らが彼のもとで完ぺきに統率されている。

一方のフェラーリは、やはりドライバであるミハエル・シューマッハのカリスマ性に負う部分が大きいと感ぜられる。いや、カリスマは彼ばかりではない。現場責任者であるジャン・トッドも、数々のモータースポーツの舞台で実績を挙げたある種のカリスマだ。本社社長であるルカ・ディ・モンテツェロも、しかし

すなわち現状のフェラーリとは、寄せ集めのカリスマ集団なのだ。だから、組織として統率が図れていない。とりあえずカリスマの中でもっとも力を持つていそうなシューマッハに付いて行く、という体制だ。それゆえ、闘い方にムタが多い。マ

クラレンが「いつもでも1000の力を出せる」のだとすれば、フェラーリのそれは相対的に心許ない。だからこそ、人気はいつも劣勢のフェラーリとシューマッハにばかり集中する。

スパでのレースを見た限り、鈴鹿はかなりおもしろいことになりそうだ。過去2年はシューマッハがポールのポジションを獲るが、レースではマクラーレンのミカ・ハッキネンが勝つという構図。これはおそらく、シューマッハがタイヤの持つ能力以上に走ってしまうからだ。

スパもそうだった。シューマッハはタイヤの限界性能を超えてしまい、その結果、終盤の大事な局面でタイヤが苦しくなるといふ事態に陥ってしまった。

また、スパではわずかしかなった雨も、秋の鈴鹿ではレースの展開を大きく左右する要因となるかもしれない。

フェラーリはいずれにしろ、よもや鈴鹿ではスパと同じことは繰り返すまい。そのスパで得たデータもある。レースでは徹底したタイヤ戦略を練ってくるはずだ。燃料の積載量も含めて、いついかなるタイミングでフェラーリはタイヤ交換を行うのか。おそらく、オーソドックスなレースはしまし。それで多少のリスクを負うことになることも、シューマッハというドライバークラウドには、まだまだたつぷりとマシンを速く走らせる余力がある。私は、そんなシューマッハの底力を、鈴鹿のレースに期待する。

久々のスパで占つ 鈴鹿GPの行方

137 2000 / 11

●F1イタリアGP●

8月10日決勝はM.シューマッハが優勝。ランキングトップのM.ハッキネンに2ポイント差まで迫った。シューマッハは通算41勝、A.セナの記録に並んだ。この勢いで10月8日の鈴鹿GPに臨む。